

高崎市立鼻高小学校

本校における環境活動の概要

本校は、観音山丘陵と碓氷川に挟まれた自然環境豊かなところに位置しています。その身近な自然を活かして、次のような目標を掲げて環境教育に取り組んでいます。

- 1 自然の美しさやすばらしさ、生物の生命力の強さに気づき、自ら生きる喜びを見出すことのできる児童を育成する。
- 2 様々な環境問題に目を向け、解決のためにいろいろな考えを出し合い、身近なことから実践していこうとする意欲や態度を育成する。
- 3 身の周りの友だちも環境のひとつと考え、自分の人間関係を広げ、自分の価値を見出し、友だちと共に大きく成長し合うことのできる児童を育成する。

そして、主に次のような環境活動に取り組んでいます。

- 1 ファミリー班を活かした植栽活動
- 2 愛鳥モデル校としての活動
- 3 各学年の活動

1 ファミリー班を活かした植栽活動

① ファミリー遠足での植栽活動

本校では、ファミリー班という異学年集団で様々な活動を行っています。5月下旬に行われるファミリー遠足では、地域のNPO法人「鼻高町をきれいにする会」の協力のもと、地域の名所「鼻高展望花の丘」にヒマワリの種をまいたりサツマイモの苗を植えたりして、地域美化や給食時の食材づくりに取り組みます。

② 各学年による植栽活動

本校は、「緑の少年団」としても活動しており、「鼻高町をきれいにする会」と連携して、校内美化と併せて地域美化に取り組んでいます。

今年は、まず6月に、校庭と近くの公園の植栽に取り組みました。1年生と6年生が、会で育てていただいたマリーゴールドの苗を植えました。

2回目は10月にパンジー・ビオラの苗植えを予定しています。それらを大きく育て、12月にプランターに植え替えたり、地域の公園にも植えたりする予定です。また、プランターの花は、卒業式や入学式の際に飾り、自分たちの育てた花で、お祝いの気持ちを表します。



ヒマワリの種植え



サツマイモの苗植え



マリーゴールドの苗植え



日本野鳥の会の方々と野鳥の観察



学校近くの公園にて 地域もお花でいっぱい

2 愛鳥モデル校としての活動

本校は、「愛鳥モデル校」でもあり、毎年秋には、日本野鳥の会の方を講師にお招きして、3・4年生が野鳥の観察会を行います。年間を通して、本校周辺には、たくさんの野鳥が飛来し、校庭からも観察できます。

3 各学年の活動

各学年が、環境保全のために身近にできることに取り組んでいます。ごみの分別や牛乳パックのリサイクルをしたり、節電や節水を心掛けたりしています。また毎日、プランターの花の水やりにも取り組んでいます。